

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	みやぎ県	市町村名	かわみなみちょう 川南町	地区名	トロンロン地区	面積	250 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

### 目標

大目標 安全・快適性の向上を図りつつ、交流人口の増加をはかり、「魅力あるまちづくり」を目指す。

- 目標1 公共施設の整備改善により、施設利用者の安全性・快適性の向上を図る。
- 目標2 運動公園をはじめとした交流施設の整備によりスポーツ大会、キャンプ等の誘致及び地域活動などを推進し、地域振興を図る。
- 目標3 イベント開催等により観光客等を商店街に誘導する都市型観光を推進し、魅力ある商店街づくりを図る。
- 目標4 污水处理施設の整備を促進し、快適な居住環境づくりを図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・ 当地区は、川南町の生活の中心として、メインストリートである町道上町南中須線沿いに展開しているが、路面の損傷が著しくなっている。
- ・ 第四次川南町長期総合計画において、メインストリートである垂門名貫線(町道上町南中須線)の早急な対応が必要と示されている。
- ・ 平成18年度に国土交通省の委託事業である社会実験事業を実施し、5回の実行委員会を開催した結果、路面改修と路側帯のカラー舗装が必要との結論に至った。
- ・ 本町は、観光面では集客力のある観光資源に乏しく、苦戦を強いられてきたが、スポーツキャンプの誘致や、中心市街地でのイベント開催により観光客の誘導を図っているところである。
- ・ 都市再生整備計画の策定にあたり、まちづくり機関である「まちづくりトロンロン」や、住民代表などと計画の内容や進め方など協議を行なった。
- ・ 家庭等の雑排水が水路及び河川等の公共用水域に排出され水質汚濁を招いている。
- ・ 平成22年4月発生、家畜伝染病の口蹄疫がもたらした被害は畜産農家だけにとどまらず、商店街経済も危機的状况に追い込まれている。

#### 課題

商業面で個性化を図り、商店街自体が都市型観光の拠点として集客力を持ち、賑わい型商業を実現していくことが「魅力あるまちづくり」への最大の課題である。

- ・ 町道上町南中須線は、路面損傷により大型車両通行時に振動が発生し、沿線住民を悩ませている状況であることから、早急な整備が必要である。
- ・ 中心市街地でのイベント(トロンロン軽トラ市・トロンロン夜市)は、メインストリートを歩行者天国として開催しているが、路面の損傷が著しいため、来場者への安全確保の面でも懸念される。
- ・ スポーツキャンプ等の誘致や地域行事等での運動公園利用推進にあたり、施設の更新や、高森近隣公園、駐車場の整備が早急の課題である。
- ・ 口蹄疫発生はこの地域にかけてない経済的閉鎖感をもたらす来場者増加傾向のイベントなど観客数への影響が懸念される。
- ・ 公共用水域の水質改善を図ることが重要な課題であり、住宅密集地区の面整備を実施しているが、合併浄化槽設置から年月が経っていない等で加入率が伸び悩んでおり、加入率向上を図る必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

町内、町外を問わず、誰もが訪れたいまちづくりを進め、中心市街地の活性化と魅力の向上を図る。

- ・ 第四次川南町長期総合計画において、魅力ある商店街づくりを図るため、道路、駐車場、公園等の都市基盤整備の推進が施策として示されている。
- ・ 活性化を図るためには、いかに人を集めるかが重要であるが、定住人口の減少、高齢化の問題もあり、交流人口増加につながる事業等を推進する必要がある。第四次川南町長期総合計画でイベント企画による観光客の誘導と、スポーツ合宿等の積極的誘致が示されている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. イベント来街者数	人/年	中心市街地イベントに来場された人数	中心市街地イベント会場が道路(町道上町南中須線)であり、道路改修による来場者の増加を目標とする。	60,000	H18	72,000	H24
2. 商店街購買者数	人/年	商店街内の業種別に店舗を抽出し、そこで買い物をした人数	路面の整備と路側帯のカラー舗装化等により、商店街としての魅力が向上したことによる買い物客数の増加を目指す。	65,000	H18	65,000	H24
3. スポーツキャンプ等利用者数	人/年	当地区におけるスポーツキャンプ・大会等の利用者数	施設整備によりスポーツキャンプ・大会等の誘致を推進し、そこに訪れる利用者数の5%増加を目指す。	12,133	H18	12,700	H24
4. 下水道普及率	%	町内における下水道処理人口	生活環境の向上と公共用水域の水質保全のための処理人口の増加	16	H18	20	H24

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(メインストリートの整備改善による安全性・快適性の向上)            損傷の著しい道路の整備を行い、歩行者通行区分を明確にするため、路側帯のカラー舗装化を実施し、歩行者、ドライバーへの安全性・快適性の向上を図る。            商店街内の街灯が老朽化していることから、これを更新し、夜間通行の安全性を確保するとともに、中心市街地の賑わいを創出する。            商店街利用者への利便性を向上させるため、商店街案内板を設置する。</p>	<p>道路整備(基幹事業)             高質空間形成施設(関連事業、街路灯)            商店街案内板設置事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針2(運動公園等の交流施設整備によるキャンプ誘致、地域振興)            スポーツキャンプを実施する団体より整備練習場の要望もあり、今後も誘致活動を継続するにあたり、練習施設、駐車場の整備を行う。            公園整備については、地域活動にも気軽に使用できる自由広場的な整備を行なう。            施設の老朽化により、スポーツ大会運営に支障が出ていることから、更新を進め、積極的な誘致活動を今後も展開していく。            町道高森近隣公園線を整備することにより、公園管理の円滑化を図る。            町民交流の拠点となる本町役場庁舎は、昭和49年完成し、築33年を経過しており建築基準法に基づく耐震検査をH20に受検した後、耐震工事を視野に入れ、今後とも住民の交流、情報発信の中核を担っていく。</p>	<p>公園整備(基幹事業)             野球場電光掲示板改修事業(関連事業)            道路整備(基幹事業)            役場庁舎耐震対策事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針3(都市型観光の推進による魅力ある商店街づくり)            都市型観光の推進については、中心市街地でのイベント開催は必要不可欠であるが、既存イベントに加え、新たなイベントを計画し、更なる観光客の誘導を図る。(日本三大開拓地の1つとされることをPRするイベントを計画)            中心市街地内にある県内三大梅園とされる「天龍梅」の消滅が危惧されており、再生協議会を立上げ、この活動を支援し、かつての名梅の姿を取り戻す。</p>	<p>ウエスタンカーニバル開催事業(提案事業)             天龍梅再生事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針4(汚水処理施設の整備推進)            公共水域の水質汚濁が懸念されており、公共下水道整備により水質改善に努める。</p>	<p>下水道整備事業(提案事業)</p>

## その他

### 事業完了後の継続的なまちづくり活動

本町は、商工会内にまちづくりを担う機関「まちづくりトロン」が設置されており、中心市街地イベントの開催など、中心市街地活性化にリーダーシップをとってこられており、事業完了後においても継続的なまちづくりが実施される見込みが高い。

### 観光協会との連携強化

都市型観光を目指すにあたり、商工会はもとより観光協会との連携を図ることが必要不可欠である。また、当地域内のスポーツ大会、キャンプの誘致活動を観光協会が主体となって行なっていることから、町、商工会、観光協会の連携を更に深めたい。



みやざき かわみなみちょう  
トントロン地区(宮崎県川南町) 整備方針概要図

目標	安全・快適性向上と、交流人口増加による「魅力あるまちづくり」を目指す。	代表的な指標	イベント来街者数 (人/回)	60,000 (平成18年度) →	72,000 (平成24年度)
			商店街購買者数 (人/年)	65,000 (平成18年度) →	65,000 (平成24年度)
			スポーツキャンプ等利用者数 (人/年)	12,133 (平成18年度) →	12,700 (平成24年度)

